

PZ-3(three)

中期経営3カ年計画(2005年度～2007年度) 進捗状況

2006年5月18日

 **日本ゼオン株式会社**

代表取締役社長 古河 直純

◆ 2005年度のまとめ

● 連結経常利益

6期連続の増益、さらに4期連続の過去最高益更新

● 連結営業利益

5期連続の増益、さらに4期連続の過去最高益更新

● 3年連続の増配

配当予想：年間9円（中間期：3円、期末：6円）

（期末6円の内訳：普通配当5円、記念配当1円）

● 2年連続の自己株式取得

（2年間合計 4百万株）

PZ-3 のポイント

コンセプト

PZ-3

2005年度 ~ 2007年度

飛躍の実現

企業価値向上

- ・積極的投資
- ・生産革新
- ・CSR重視
- ・研究開発強化

基本方針

- ◆『企業の社会的責任（CSR）』を再認識し、社会から信頼され、社員も誇りに思える会社づくりを「スピード」「対話」「社会貢献」をもって追求する。
- ◆経営戦略と研究戦略を一致させ、ひとのまねをしない、ひとがまねをできない世界一の独創的技術で新事業を創造し、継続的に発展・拡大させる。

PZ-3 連結業績目標の達成状況

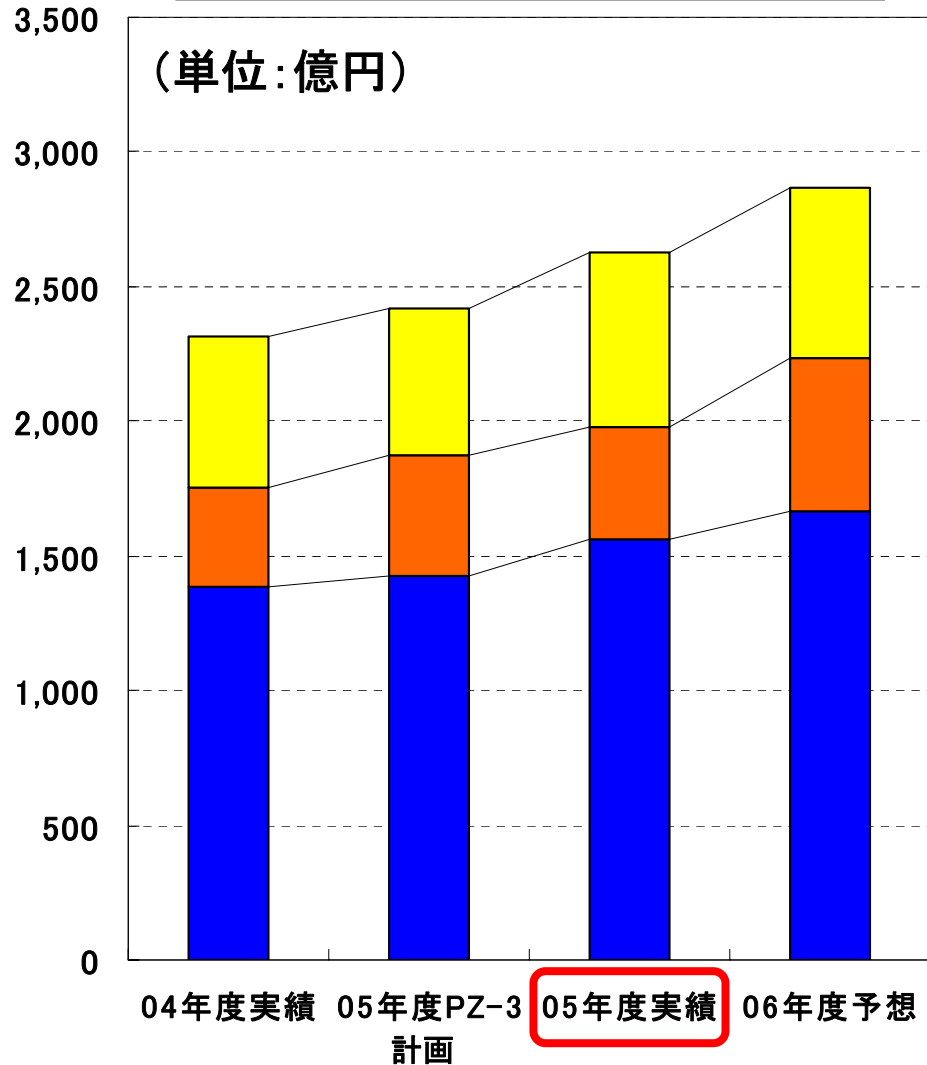
	2004年度 実績	2005年度 PZ-3 計画	2005年度 実績	2006年度 予想	2007年度 PZ-3 計画
売上高	2,314億円	2,415億円	2,631億円	2,870億円	2,700億円
営業利益	193億円	230億円	268億円	290億円	330億円
高機能材料事業 営業利益構成比	45%	49%	38%	51%	55%
ROE	10.2%	13.0%	17.6%	15.6%	16%

◆ セグメント別の状況(連結)

連結売上高

■ エラストマー素材 ■ 高機能材料 ■ その他

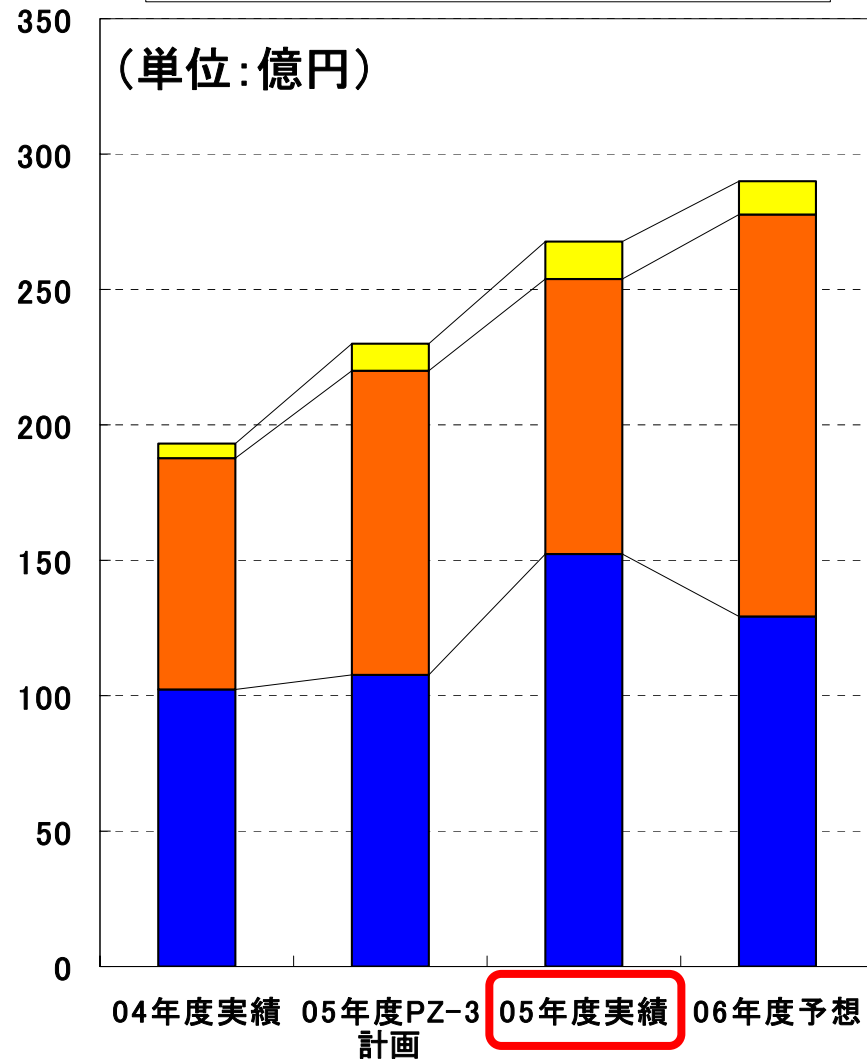
(単位:億円)



連結営業利益

■ エラストマー素材 ■ 高機能材料 ■ その他

(単位:億円)



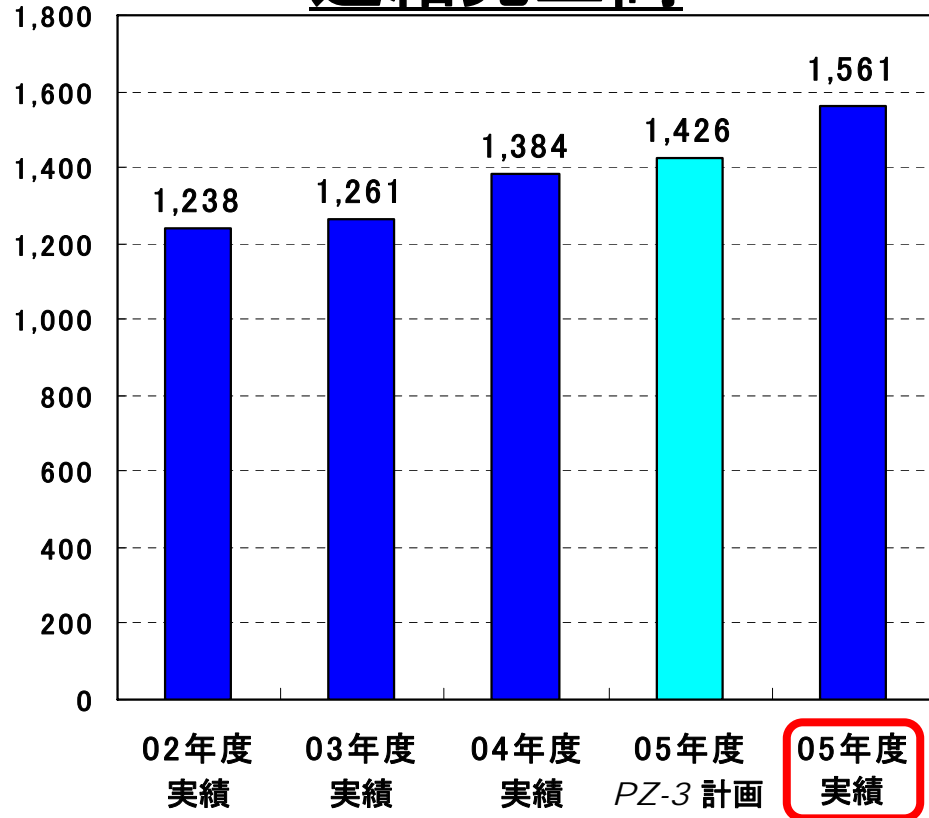
エラストマー素材事業 セグメント

連結セグメント業績推移

エラストマー素材

(単位:億円)

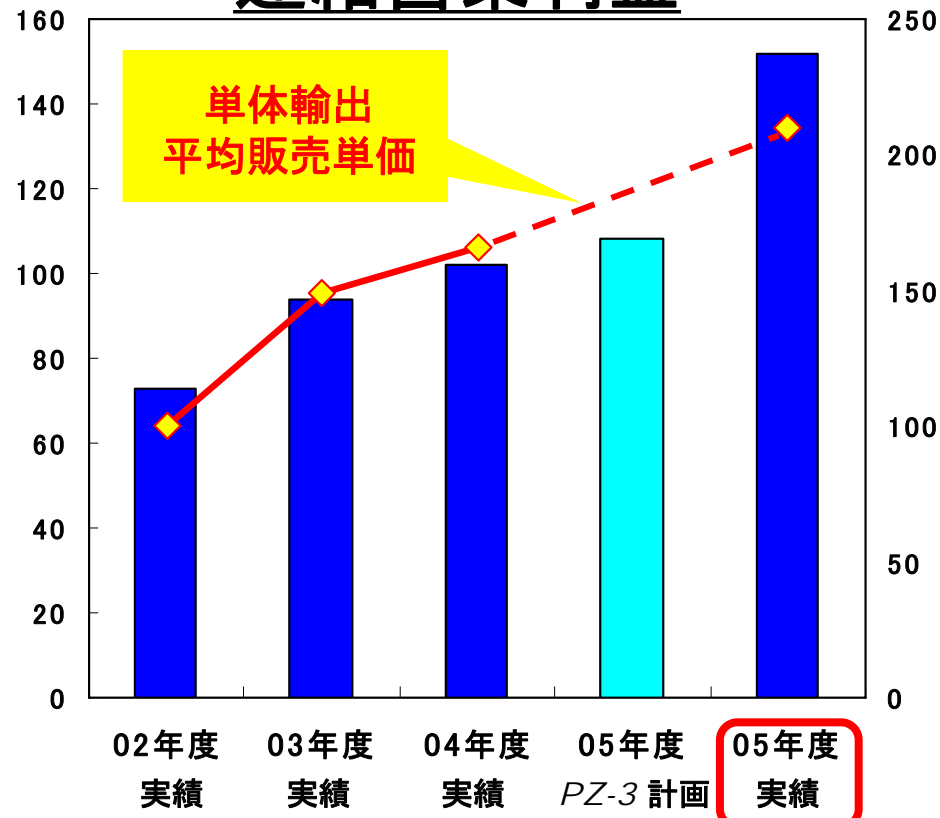
連結売上高



(単位:億円)

連結営業利益

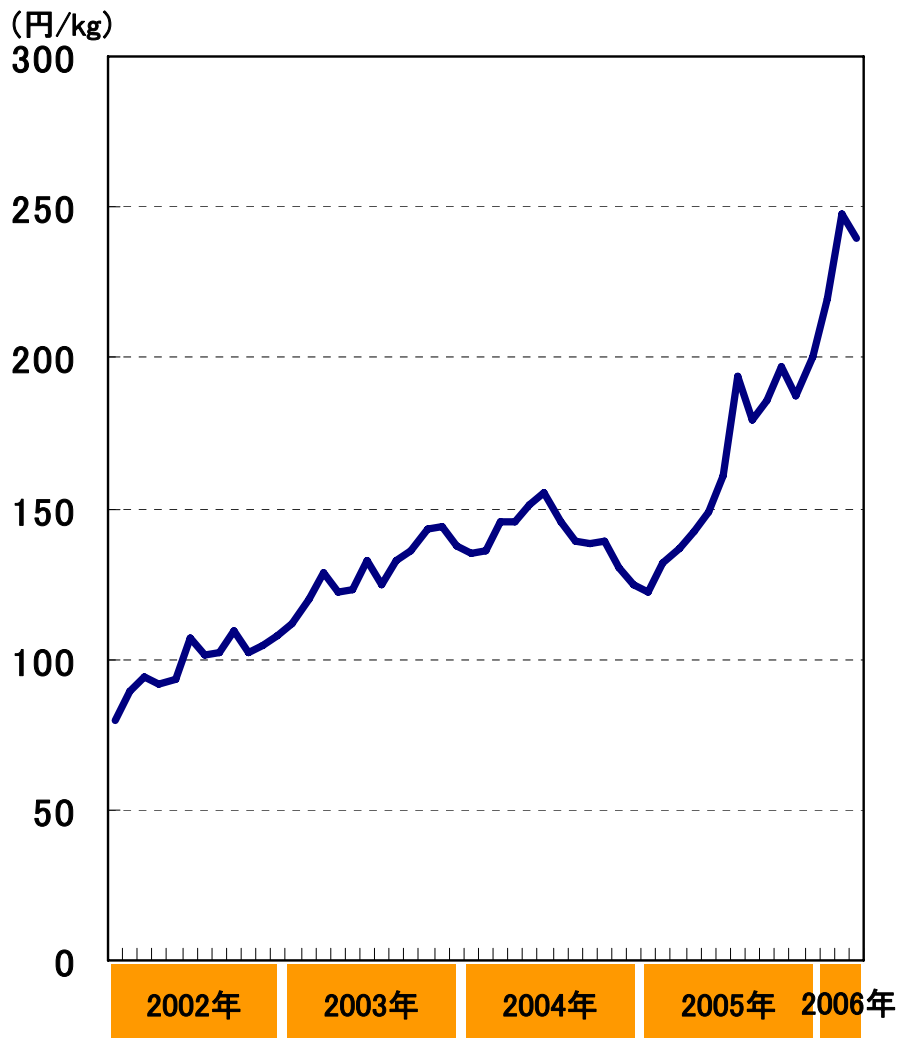
(単位:円/kg)



【2005年度総括】

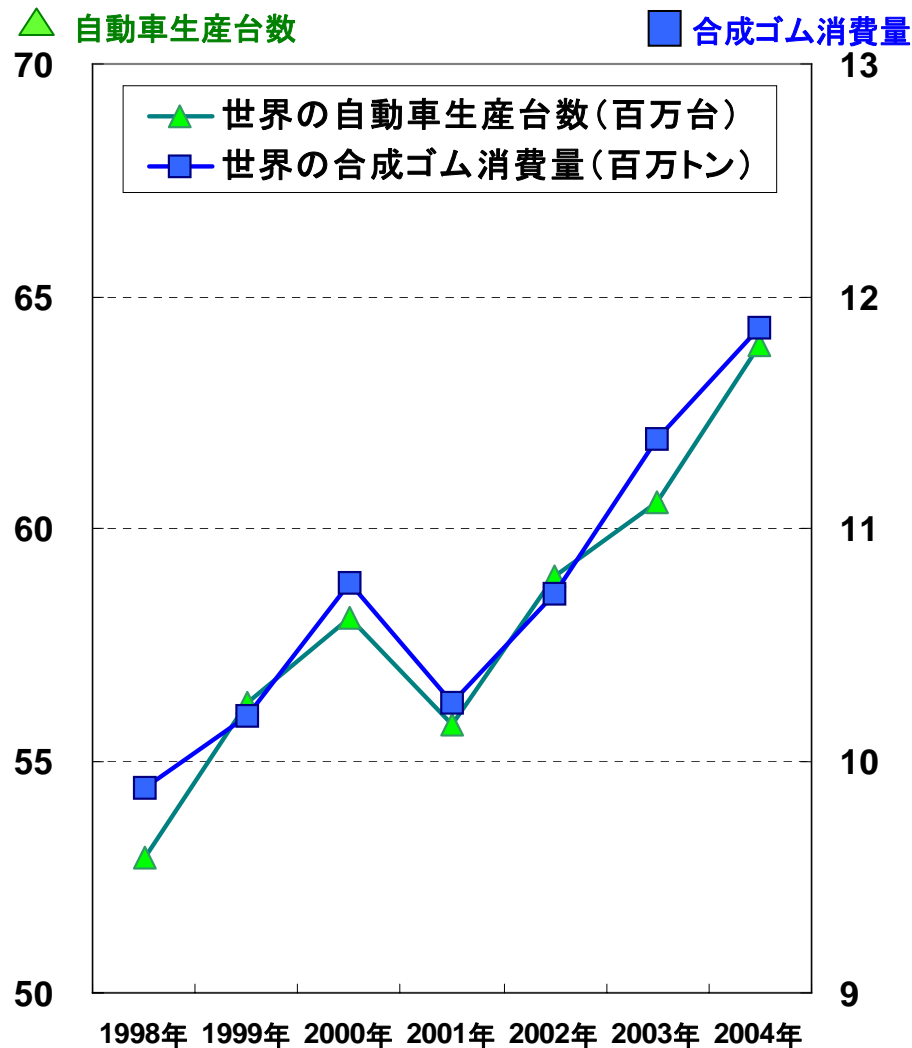
- ・海外市場における採算重視の販売政策の実施
- ・コストダウン活動の推進、拡大
- ・為替円安の進行

天然ゴム市場価格推移



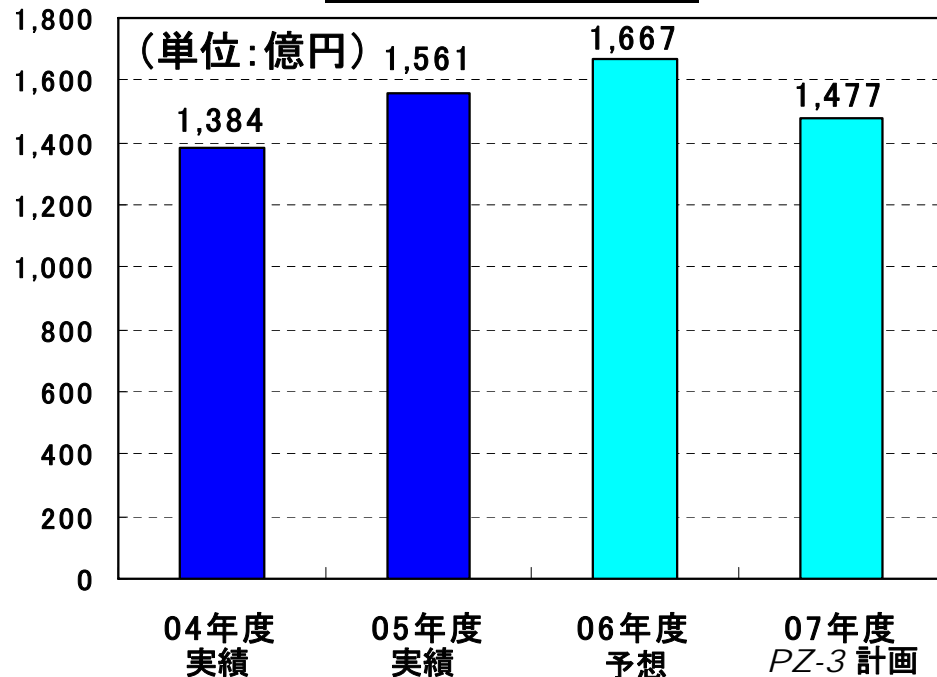
東京工業品取引所の相場価格から当社算出

世界の合成ゴム消費と自動車生産

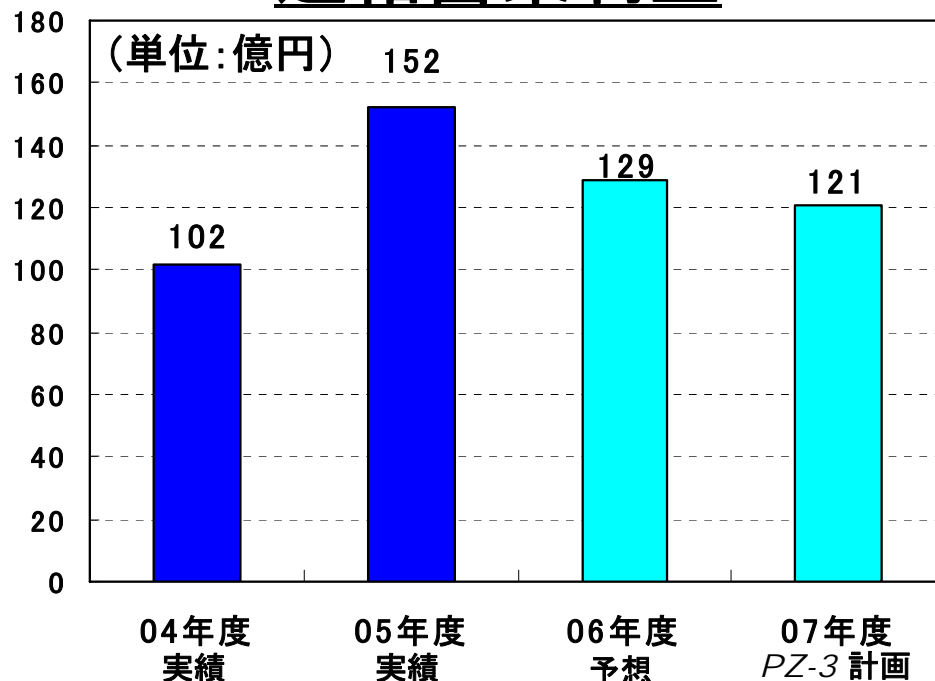


合成ゴム消費量: International Rubber Study Group より
自動車生産台数: 日本自動車工業会統計資料より

連結売上高



連結営業利益



PZ-3の基本戦略

- ・世界一の品質
- ・世界一のコスト競争力
- ・グローバル供給体制の最適化

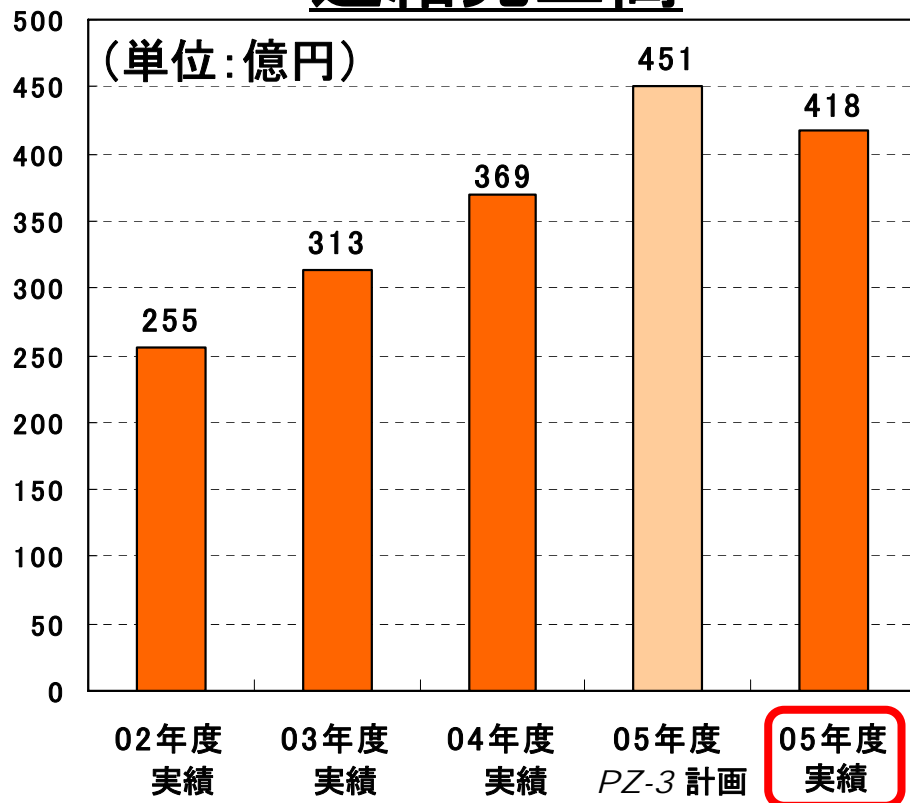
➡ 安定的な利益の確保

2006年度のポイント

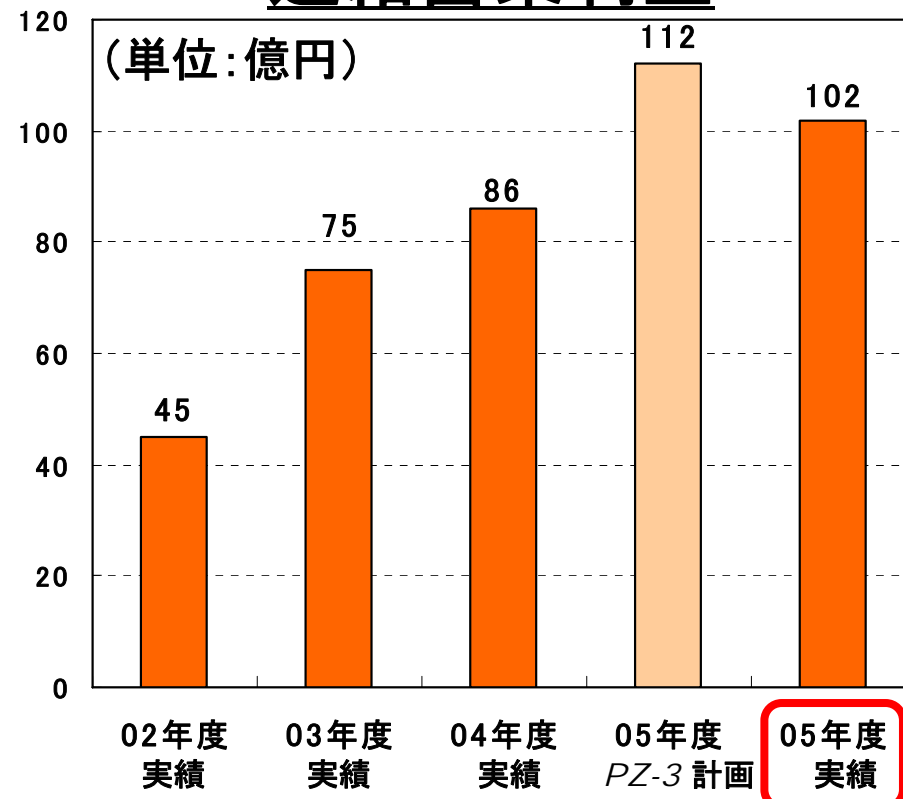
- ・高付加価値製品への生産設備転用
- ・コストダウン(Z Σ 活動)の拡大
- ・グローバル生産体制の見直し

高機能材料事業 セグメント

連結売上高



連結営業利益

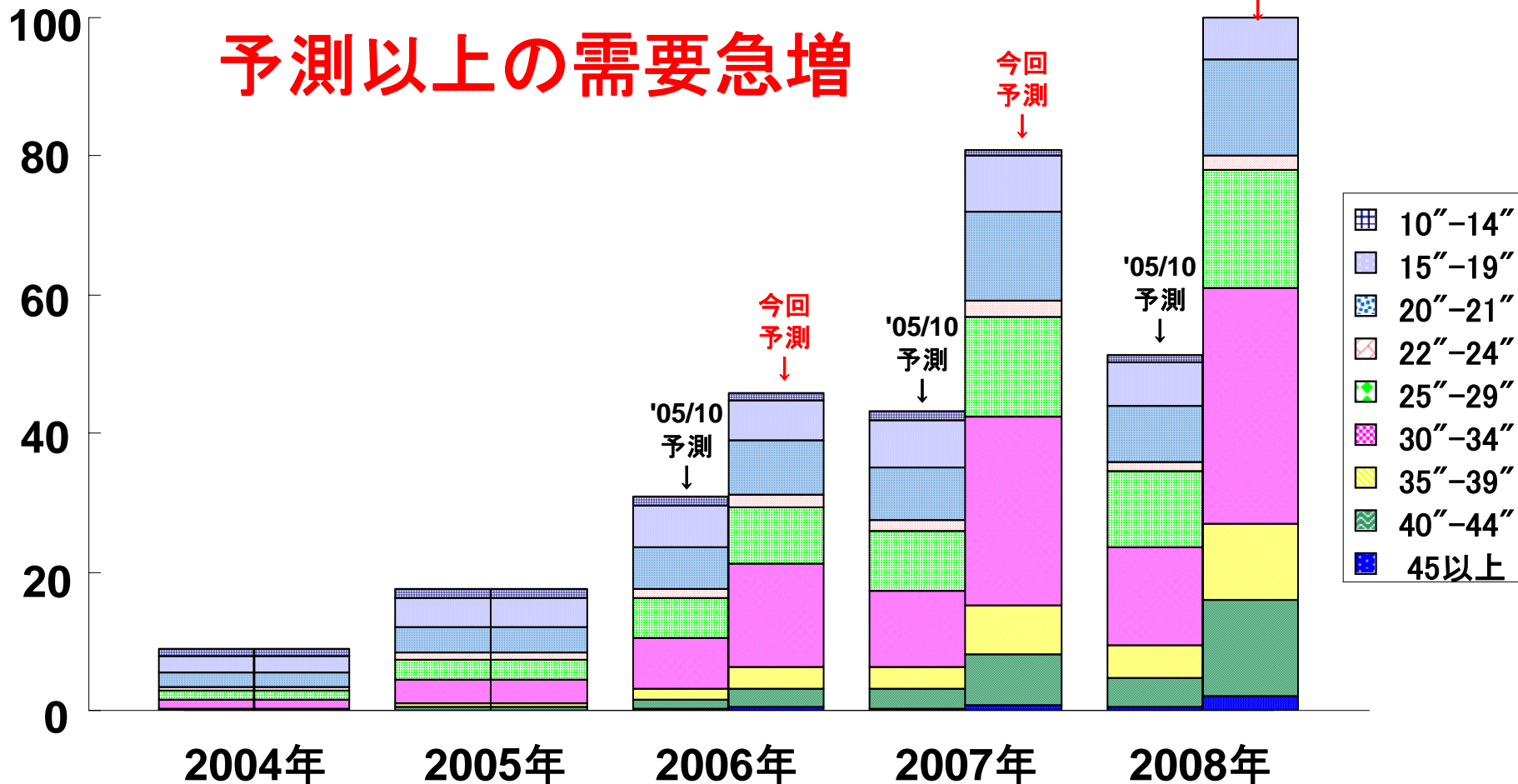


【2005年度総括】

- ・液晶パネル用光学フィルム(ゼオノアフィルム)が好調。
- ・光学レンズ用途、医療用途向け樹脂(ゼオネックス)、エッチング用ガス(ゼオローラ)も順調に売上拡大。
- ・合成香料はユーザーの自製化の影響により売上が減少。

最新市場予測 LCD-TVサイズ別需要予測(台数)

需要予測
(百万台)



Display Search データを元に当社予測

位相差フィルム需要予測

需要予測
(百万㎡/年)

140.0

120.0

100.0

80.0

60.0

40.0

20.0

0.0

2004年

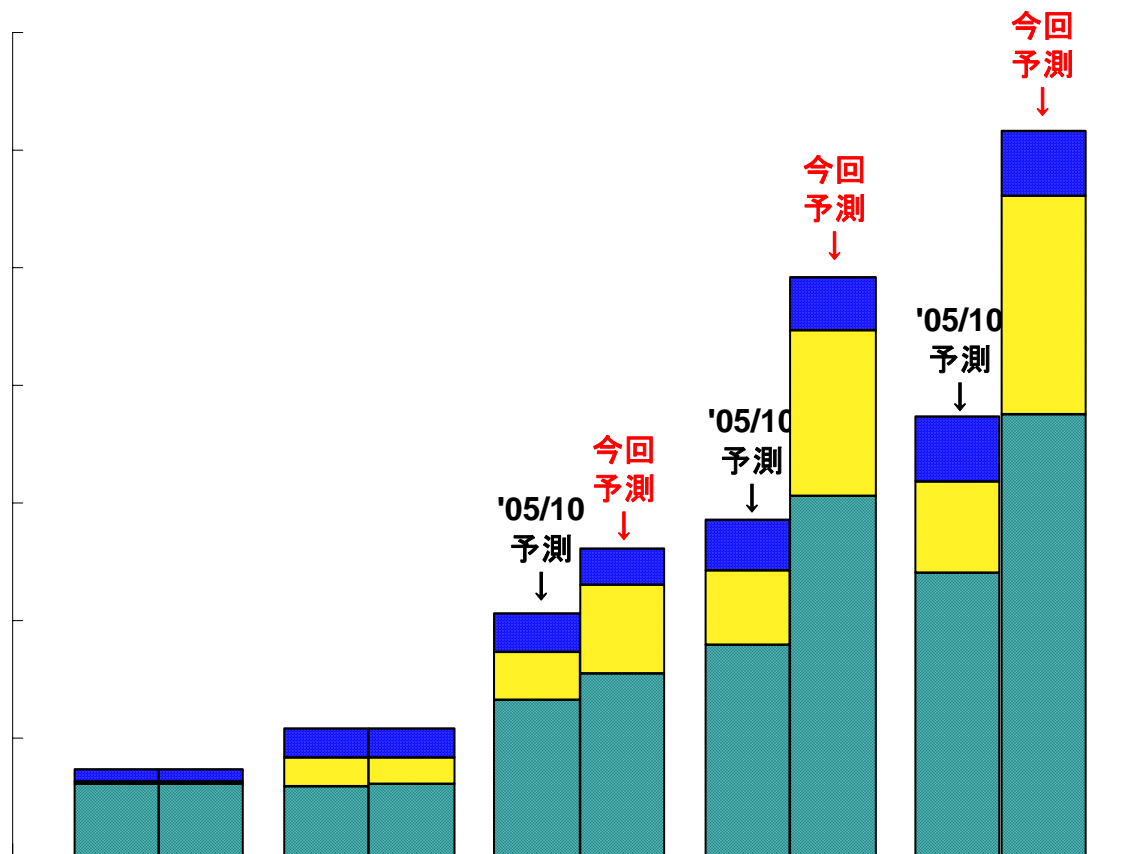
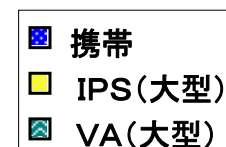
2005年

2006年

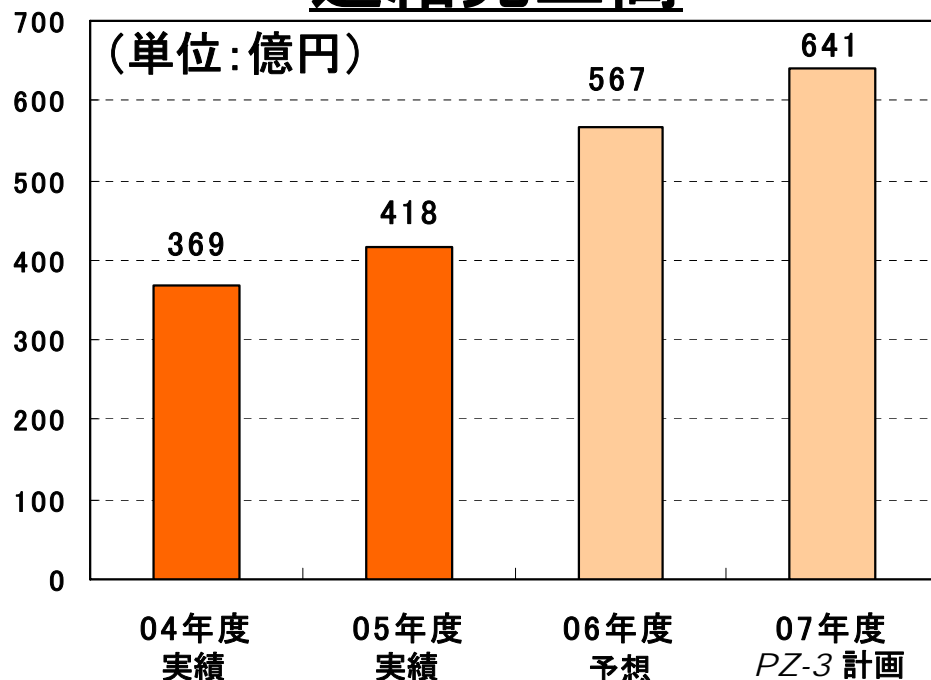
2007年

2008年

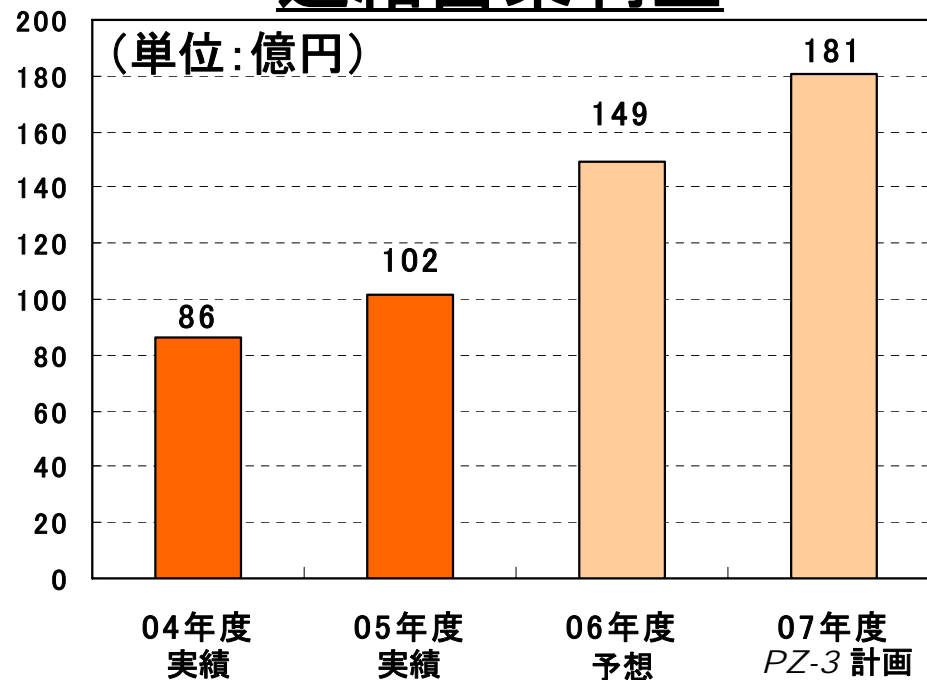
当社予測



連結売上高



連結営業利益



PZ-3の基本戦略

- ・テクノロジープラットフォーム強化
- ・精密加工技術の強化
- ・ユーザー密着の市場展開

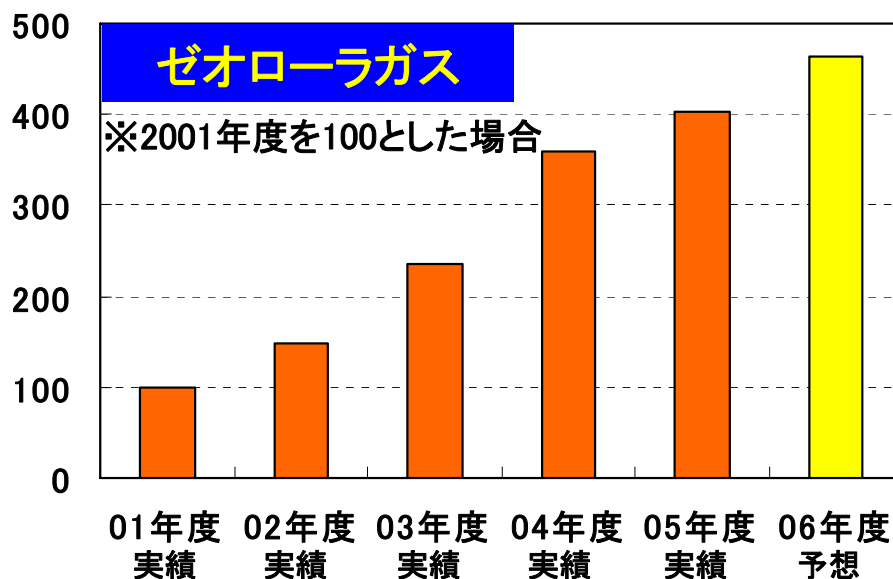
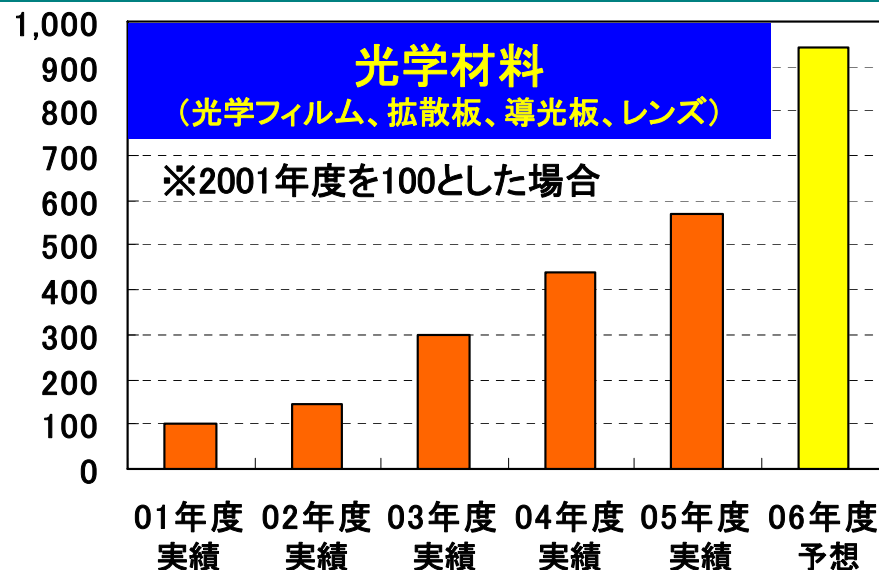
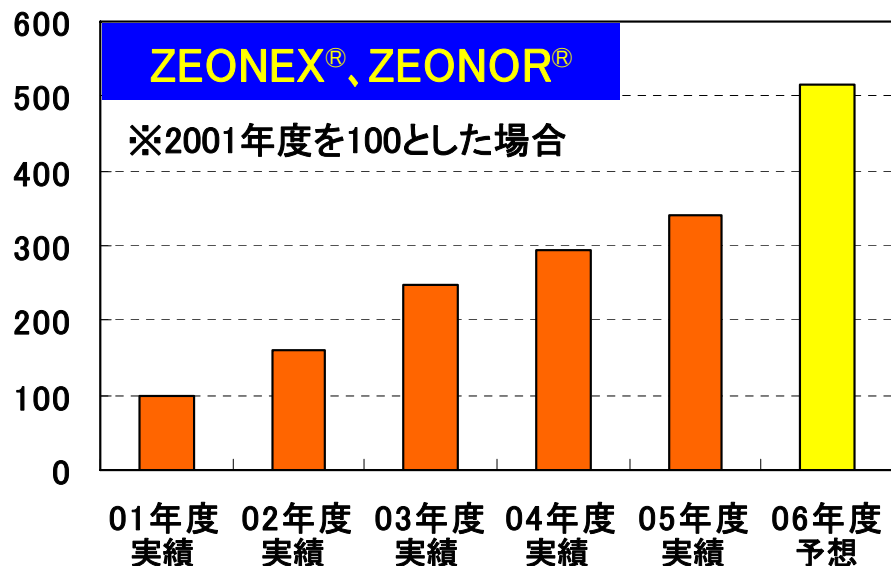
➡ 飛躍的な事業拡大

2006年度のポイント

- ・市場の拡大のチャンスを逃さない供給体制の確立
- ・最終製品の価格低下を吸収するコストダウンの実践
- ・価格競争に陥らない高機能新製品の上市

戦略製品の売上高推移

高機能材料

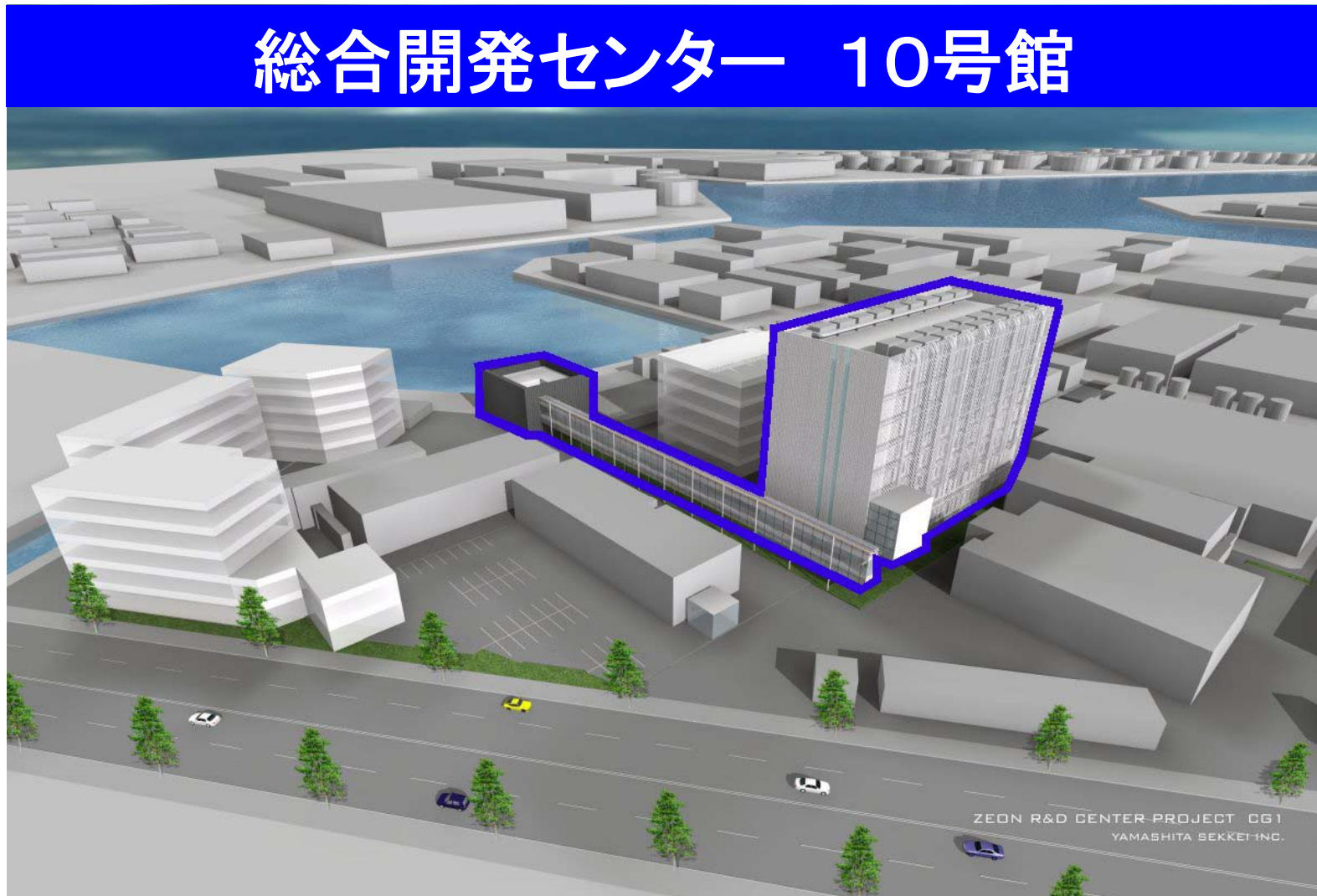


その他の状況

1. 経営戦略と研究開発戦略の一体化
2. 研究開発速度のスピードアップと成功確率の向上
3. テクノロジープラットフォームの戦略的強化

研究拠点の整備・拡充

総合開発センター 10号館



2006年5月竣工予定

研究拠点の整備・拡充

精密光学研究所 機械加工棟(高岡)



2006年3月31日竣工

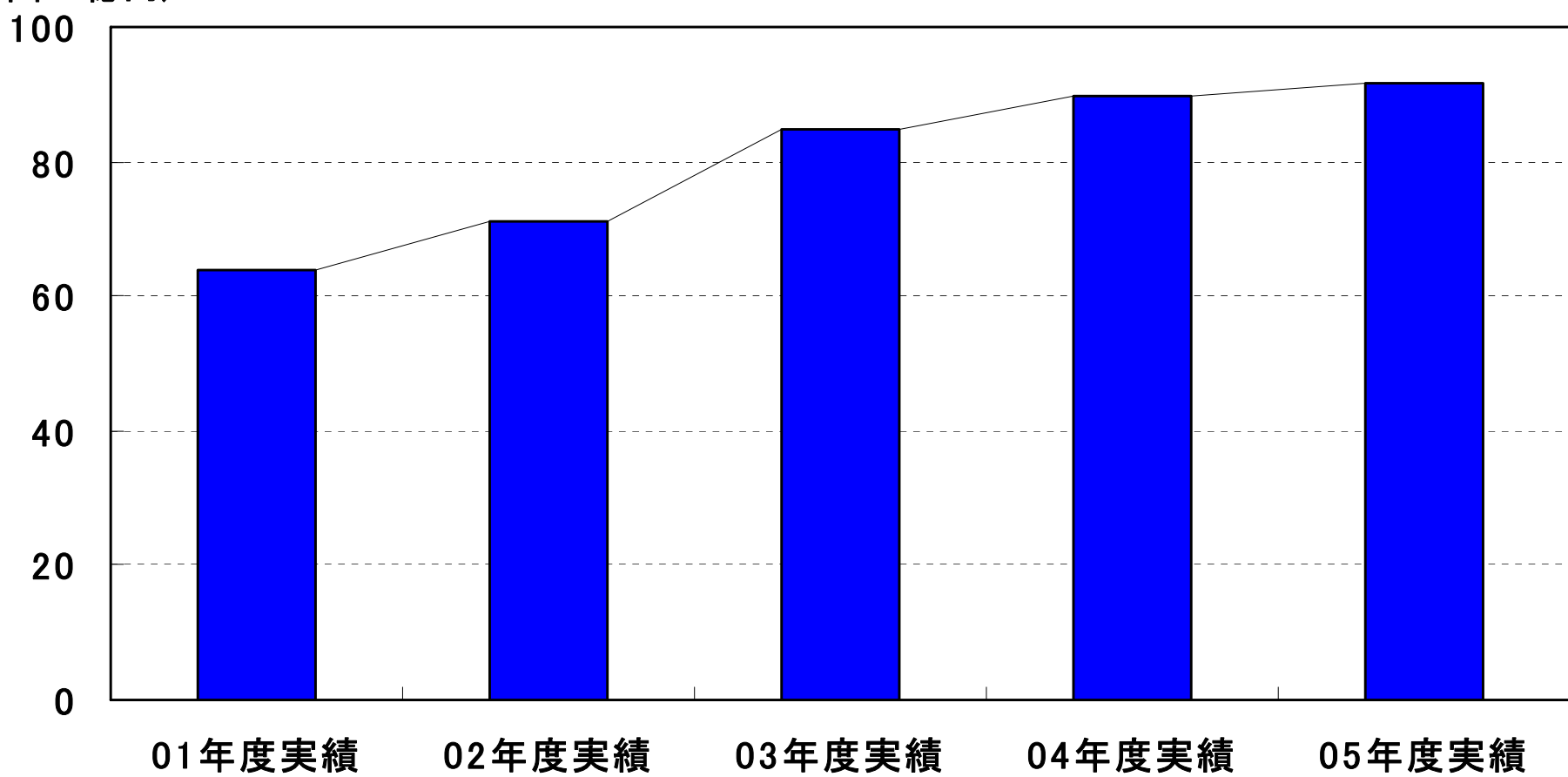
化学品研究棟 (米沢)



2006年4月24日竣工

◆ 研究開発費推移

(単位:億円)



更なるスピードアップを図る

1. 生産革新による安定・安全生産の徹底追求
2. グループ力を結集したコストダウンの実践

● 現場力向上のために

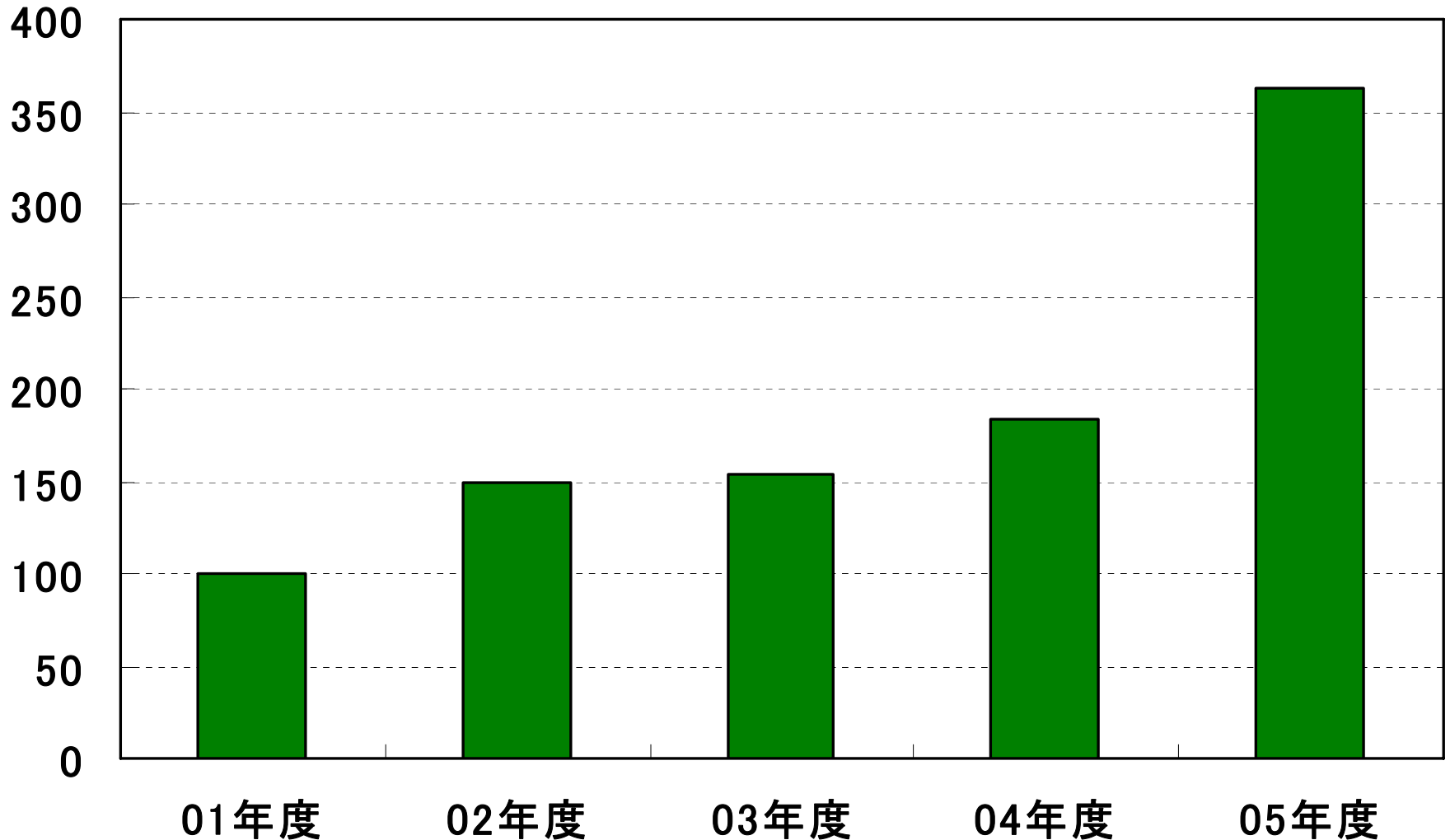
『だろ、はずだは止めよう』

『金を出すから知恵を出せ』

『決めたことは守る、守れないものは変える』

◆ 現場力向上のための投資

投資額推移(承認ベース)

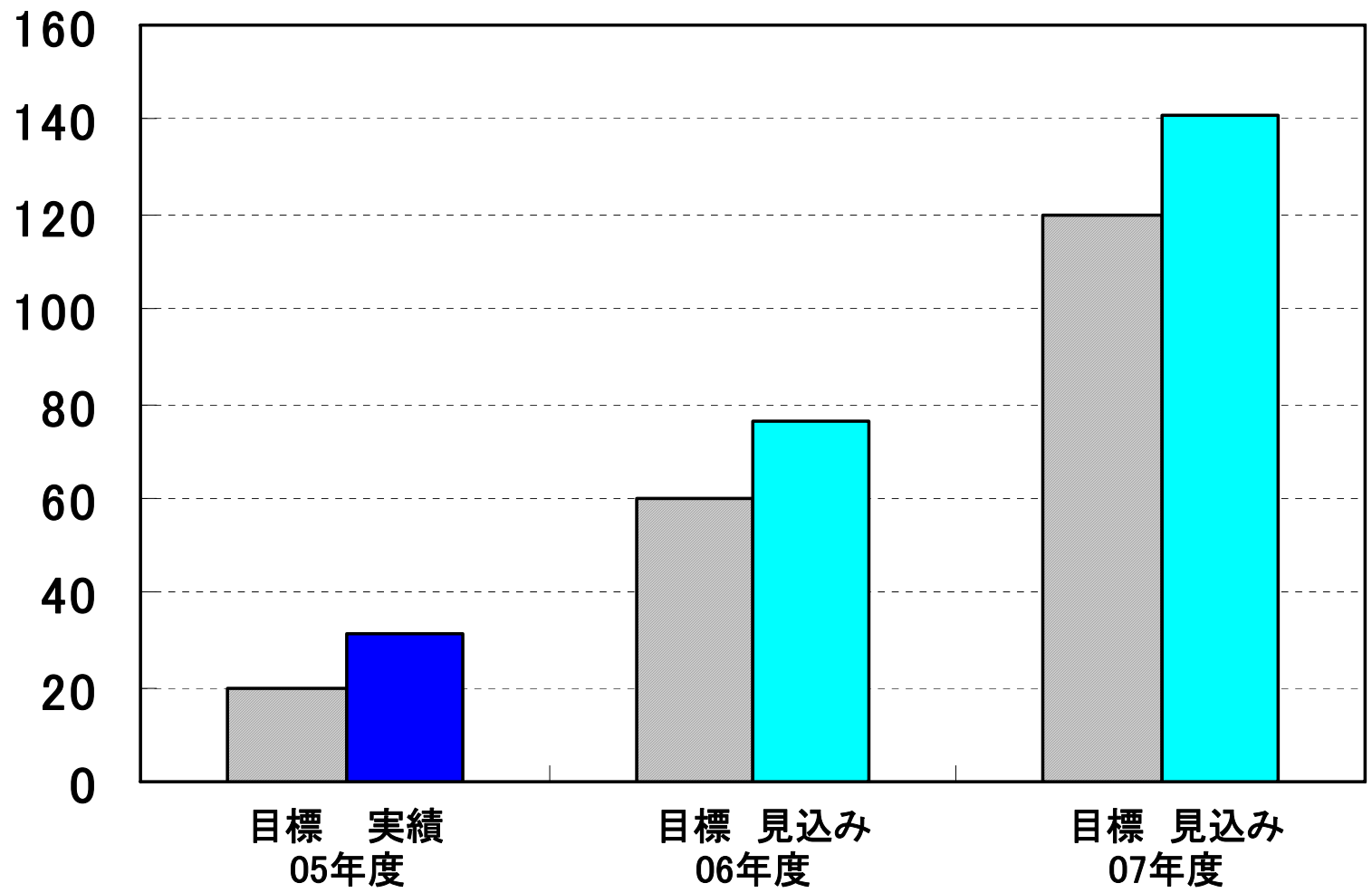


※2001年度に承認された、現場力向上のための投資額を100とした場合

◆ ZΣ 活動によるコストダウン

累積コストダウン効果額

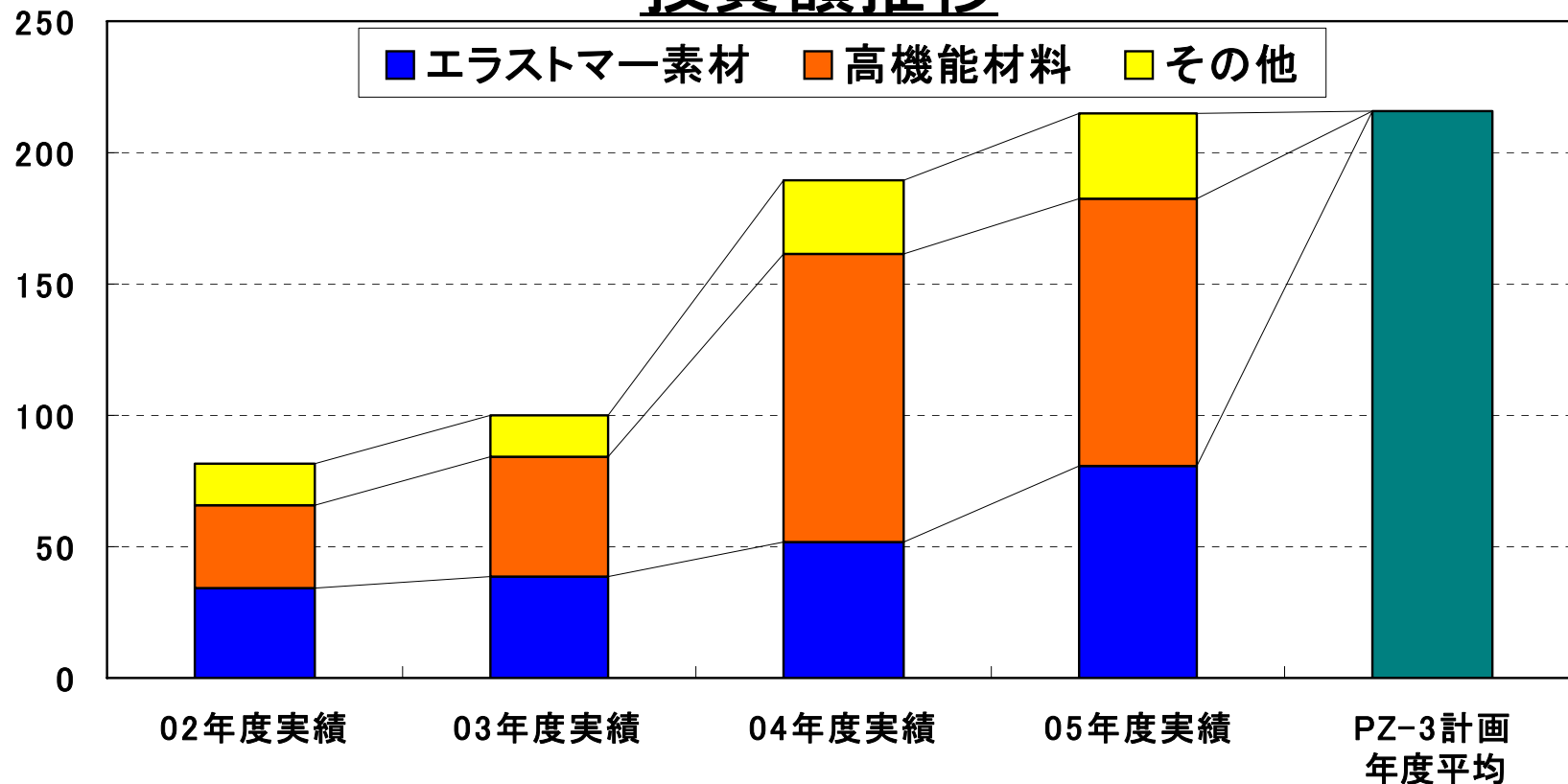
(単位:億円)



2010年を見据えた新事業拡大への戦略的投資

(単位:億円)

投資額推移



社会から信頼され、社員もゼオンに働く誇りを感じる会社の実現

地域との共生

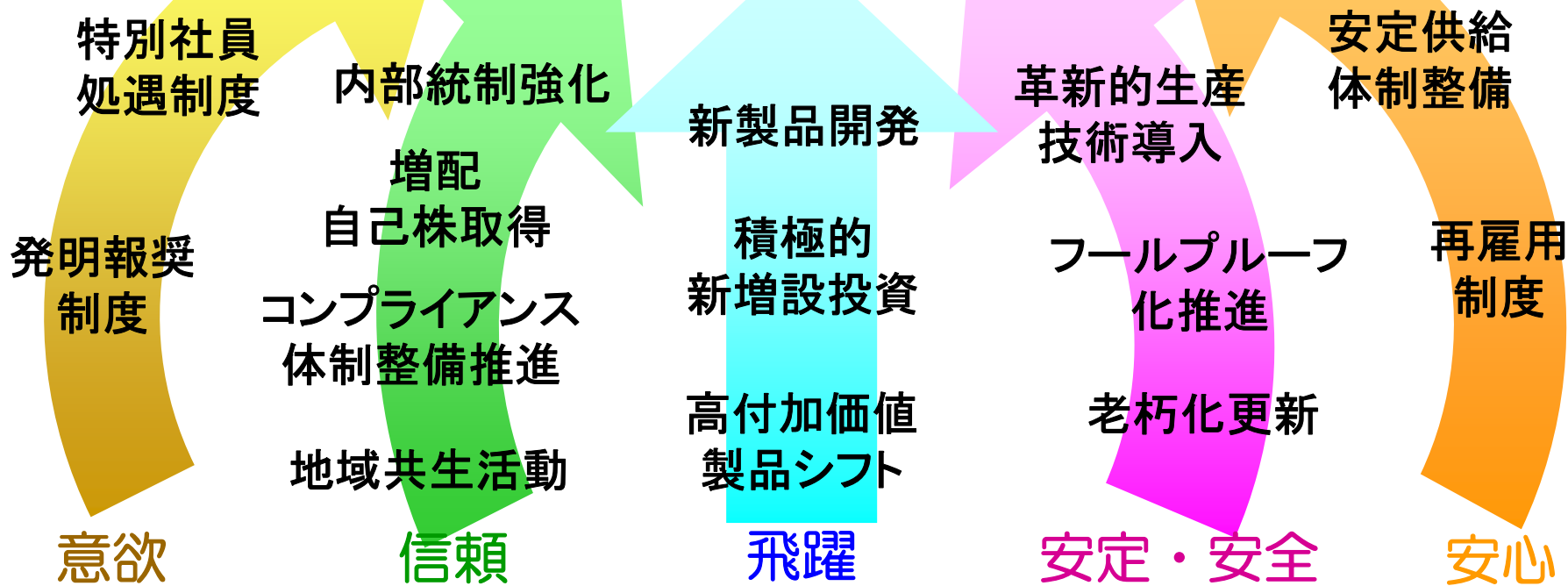


- 2005年度
徳山工場創業40周年
- 2006年度
高岡工場創業50周年

企業価値向上のために

企業価値向上

CSR

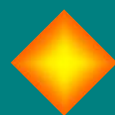


PZ-3

スピード

対話

社会貢献



スピード

対話

社会貢献

◆ 注意事項

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501